

平成 30 年5月 10 日

各 位

上場会社名 株式会社安楽亭 代表者名 代表取締役社長 柳 時機

(コード番号 7562)

問 合 せ 先 常務取締役管理本部長 安部 一夫

(TEL 048-859-0555)

業績予想の修正及び特別利益・特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成30年2月13日に公表した業績予想を、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。また、特別利益、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1.平成30年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	16,760	210	190	40	18 円 70 銭
今回修正予想(B)	16,947	348	320	149	69 円 80 銭
増減額(B-A)	187	138	130	109	_
増減率(%)	1.1	65.7	68.4	272.5	_
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	16,539	193	171	△73	△34円27銭

2.平成30年3月期通期個別業績予想数値の修正 (平成29年4月1日~平成30年3月31日)

(単位:百万円、%)

	11 = = 1111 1				
	売 上 高	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益	
前回発表予想(A)	15,480	130	10	4円68銭	
今回修正予想(B)	15,683	256	109	51 円 36 銭	
増減額(B-A)	203	126	99	_	
増減率(%)	1.3	96.9	990.0	_	
(ご参考)前期実績 (平成29年3月期)	15,272	243	25	11 円 92 銭	

3.修正の理由

(1)個別業績予想修正の理由

平成30年3月期の売上高につきましては、客数の回復スピードが想定よりも緩やかにとどまったことに加え、直営店のFC店転換、営業時間短縮の影響により、当初予想を下回っておりましたが、平成30年2月のテレビ放映等の影響により、第4四半期間における売上高が堅調に推移したことから、前回公表予想を上回る見込みであります。

利益面では、上記売上高の増加に加え、全社的な経費の削減が進んだことから、営業利益、経常利益、当期純利益ともに予想を上回る見込みであります。

なお、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損損失を、また、当社子会社である安楽亭ベトナム有限責任会社につきまして同社株式の実質価額が低下したため、株式評価損を計上する見込みであります。

(2)連結業績予想修正の理由

主に、個別業績予想の修正に伴って修正するものであります。

4.特別損益の計上について

(1)特別利益

1. 受取保険金(連結・個別)	39百万円
2. 固定資産売却益(連結・個別)	13百万円

(2)特別損失

1. 関係会社株式評価損(連結・個別)	59百万円
2. 減損損失(連結・個別)	27百万円
3. 固定資産除却損(連結・個別)	14百万円
4. 賃貸借契約解約損(連結•個別)	11百万円
5. 訴訟和解金(連結・個別)	10百万円

以上